

なかやまタイムス

中山地区公民館
 伊予市中山町出瀬 2-138-1
 TEL 967-1111
 FAX 967-1101
 中山町 (6月末現在)
 人口 3,010人(-8)
 男性 1,427人(-3)
 女性 1,583人(-5)
 世帯数 1,350戸(-2)

～中山町文化財紹介～ (第20回カゴノキ)

(伊予市指定天然記念物) 中山町小池集会所上 七体天神宮
 クスノキ科。幹周は胸高 360cm。樹高 25m。推定 250年。この木の主幹と
 思われる部分が枯死腐朽して、現在の主幹が巻き込んでいる。
 暖地の山林に自生する常緑高木。成木の樹皮は灰色であるが、点々と丸い小薄片
 がはがれ落ちて跡が鹿の子模様になる特徴から「鹿子木」の名がある。コガノキ、
 カゴガシの別名もある。葉裏の細毛はやがて落ちて粉白色になり、表面は緑色である。
 雌雄異株。花期は初秋、果実は 1cm以下で翌年夏に赤く熟する。材は建築、
 家具、楽器(鼓の胴)などに利用される。(中山史談会)



なかやま夏まつり

中山音頭(サンバ)踊りに500人

7月20日(金)・21日(土)の両日、「なかやま夏まつり」が開催され、多彩な催しで賑わいました。

21日には、「中山音頭(サンバ)踊り」に元気いっぱいの中山っ子、14連約500人の踊り子が参加して町内を練り歩いた後、中山中学校へ移動し全員で猛暑を吹き飛ばす元気な踊りを披露しました。



- 【中山音頭(サンバ)踊り審査結果】
 【優秀賞】中山小子ども連・双海中山商工会連
 JAえひめ中央中山支所連・なかやま幸梅園連
 【努力賞】佐礼谷小親子連・中山中白鳳ブロック連

力作ぞろい 伝統の造り物



- 【伊予市長賞】 (下灘駅 作者: 泉精米所)
 【伊予市議会議長賞】 (西郷どん・愛加那 作者: すみれ会)
 【伊予市観光協会賞】 (晩秋の金沢兼六園 作者: 吉岡 一成)

8月の行事予定	
1	水 中山・佐礼谷わんぱく塾
2	木
3	金
4	土 第22回なかやま幸梅園盆踊り大会
5	日 中山支館ラジオ体操中央集会 (中山小グラウンド)
6	月
7	火
8	水 中山・佐礼谷わんぱく塾
9	木
10	金
11	土 山の日
12	日
13	月
14	火
15	水 永木盆踊り大会
16	木 なかやま盆踊り大会
17	金
18	土 野中盆踊り大会
19	日
20	月
21	火 佐礼谷納涼の夕べ 永木山四国巡拝
22	水 中山・佐礼谷わんぱく塾
23	木
24	金
25	土
26	日 永木支館スポーツ大会
27	月
28	火
29	水
30	木
31	金

中山支館 ラジオ体操中央集会
 と き 8月5日(日)
 午前6時25分集合
 ところ 中山小学校グラウンド
 【雨天の場合は中止】
 みんなで誘い合って、ご参加下さい。
 子どもたちにはささやかな「プレゼント」があります。

平村Bチーム スポレク県大会に出場
 7月12日(木)、「しもなだグラウンド」で開催された「第14回市老連クローカー大会」において、平村Bチーム(泉 晴夫・泉ハツ子・神 通)組が第3位となりました。
 同チームは、10月頃に開催されるスポレク県大会に出場されます。

八の字に 梅雨出水 妹の 黄泉への旅路 沙羅の花 濁流に 川も氾濫 梅雨出水 今日も又 残暑きびしき 日はのぼり かつこ 遠のきて 又近づきぬ 夏の蝶 アコラ樹の からまる気根 土用波 久しぶり 友と語りぬ ピアガーデン いてん 観音の 頬ふくよかに 堂涼し 代表 西尾 芳子 秦皇山俳句会 作品集

夜間、「会議室・体育施設」使用について

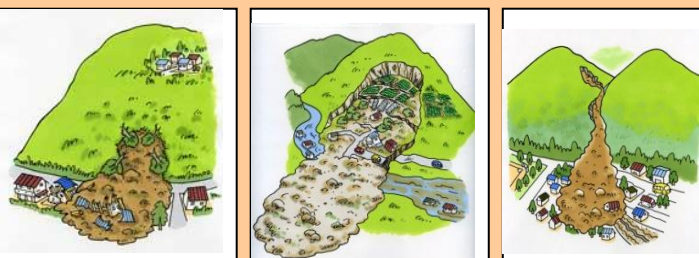
今年度から中山地域事務所は、22時～翌8時30分の間、職員が不在です。
 会議室・体育施設等を利用する方は、必ず22時までに、鍵・日誌の返却を済ませて下さい。

.....館長のひとりごと..... NO. 26

梅雨明けと同時に全国各地で気温が連日35度を超える猛烈な暑さ。交わす挨拶も「暑いですね」、そして「大雨怖かったですね.....」。一年前とまったく同じだ。ちょうど一年前、九州北部を襲った豪雨。そして、とうとう恐れていたことが起こった。中山地域でも7日未明の強い雨が後1時間続いていたらどうなっていたことだろう。「天災は忘れた頃にやってくる！」言い古された言葉だが、自然災害が私たちの知識を越えてすさまじいことを改めて知らされた。これまで大きな災害もなく比較的 안전한地域とされてきた県内だったが.....。そして、この自然に対する“恐れ”を忘れたとき、大災害が起こるような気がする。災害はいつかではなく「明日」起こるかも知れない。今回の豪雨を記憶に留め、もう一度、家族や地域と災害時の心構え、対応について確認をしておきましょう。

土砂災害の基礎知識と行動

土砂災害が起こる前には前兆があります！



- 【がけ崩れ】**
地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象
- 【地すべり】**
比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水などの影響で、ゆっくり動き出す現象
- 【土石流】**
谷や斜面に溜まった土や石、砂などが大雨による水と一緒に一気に流れ出す現象

それぞれの前兆は・・・

- 崖から小石が落ちてくる。
- 崖から水が湧き出ている
- 崖に割れ目が見える など
- 沢や井戸の水がにごる。
- 地割れができる。
- 斜面から水が噴き出す。 など
- 川の流れがにごり、流木が混ざり始める。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 山鳴りがする。 など

安全に避難するために

- 自宅の危険を防災マップで確認しておく
- 土石流の流れに対して直角に逃げる

伊予市災害対応ガイドブックより抜粋

洪水から避難する時の行動

危険を感じたらすぐ避難しましょう！

危険度

弱

洪水発生のおそれあり

自主避難

大雨が続き不安を感じたり、体力に自信がないなどの場合は、早めに地域の避難所へ自主避難しましょう。

大雨気象情報
注意報

避難準備情報

大雨気象情報
警報

人的被害の発生する可能性が高まった時に市から発表されます。避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階です。

避難勧告

人的被害の発生する可能性が明らかに高まった時に市から発表されます。通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階です。

数十年に一度の大雨

特別警報

強

避難指示

前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害が発生する危険性が非常に高いと判断された時に市から発表されます。避難が危険な場合は、自宅や近所の2階などに避難して屋内で安全確保してください。

氾濫発生

屋外への避難が危険な場合は、上層階に避難

勇気を出して、早めの避難を！

昨年の台風の災害に続き、今回の梅雨末期の大雨。降水量は、時間最大雨量 30 ミリ余りの雨が数時間降り続き、河川の氾濫や大規模な地滑りが発生。中山地域が降雨に対して、いかに弱いかが改めて示されました。

土地利用の管理や河川改修等のハード面での被害防止、知識や制度によるソフト面での被害の低減を図っても防災には限界があり、人命を守るには安全な場所・施設への避難がもっとも重要です。

土砂災害等が予測される場合は予め避難所が開設されます。「明るいうちに」、「安全に移動できるうちに」、勇気を出して、早めの避難をしましょう。

避難された方からの声・・・

これまで避難勧告が発令されても、一度も避難したことはありませんでした。

しかし、今回は西日本各地に大雨警報や避難指示、避難勧告が発令され恐怖さえ感じました。子どもが心配して、安全な場所へ避難しよう連絡があり。子どもが電話をしてくれたのだから・・・そう思い、お隣りにも「避難しませんか」と声をかけました。年寄りが居るので・・・ということと一緒に避難はできませんでしたが、後で、娘さんから避難を進められたということ避難所で一緒になりました。

住んでいる地区は地すべり地区にも指定され、これまで雨が降るたびに心配をしていました。今回も子どもから電話がなかったら避難していなかったと思いますが、お陰で安心して過ごすことができました。これからは、万一来る前に、真っ先に避難したいと思います。



中山地域
自主防災会連絡協議会
片岡 久男 会長



平成30年7月豪雨

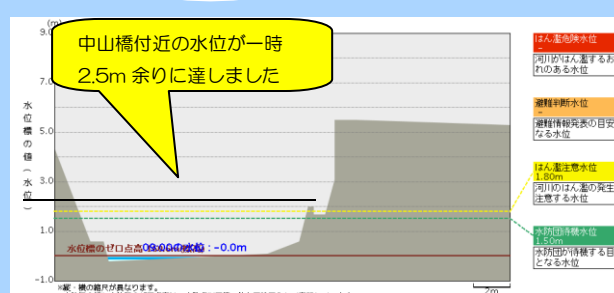
中山地域

24時間雨量観測史上最大を記録

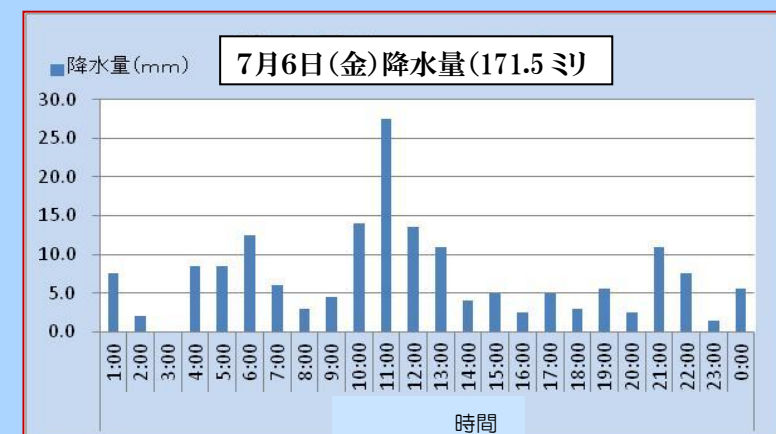
260ミリ

増水した栗田川

土砂災害・・・洪水・・・いざ！という時の備えを・・・



【中山地域の7月6日・7日の降水量（気象庁アメダスより）】



7月6日から8日にかけて西日本を中心に記録的な豪雨に襲われました。広島、岡山、愛媛の3県を中心に、多くの地域で河川の氾濫や浸水、土砂崩れ等が発生し、死者数が200人を超える甚大な災害となりました。

平成に入ってからのもっとも豪雨災害としては、初めて死者数が100人を超える最悪の被害となりました。

中山地域でも6日未明から7日朝にかけて大雨が降り続き、24時間降水量が観測史上最大の260ミリを記録しました。町内を流れる河川は増水し、至るところで道路や水田が冠水。被害件数は道路、農地の崩壊及び農地等への土砂流入等300カ所余りとなり、多くの皆さんがこれまでにない恐怖さえ感じられたことと思います。

これから、本格的な台風シーズンを迎えます。家族、地域で土砂災害、洪水等に対し、もう一度「いざー」という時の備えをしておきましょう。